

## 編集後記

日本核医学会はこの秋、節目の五十回目の学術総会を迎える。共催を成す日本核医学技術学会も三十回の吉数の指を折る。

人間に准えると五十は知命、三十はなお膾炙する而立である。

知命は天命を知ることの意味するものであるから、学術会議をかく表現することには当然乍ら聊かの躊躇を覚える。それでも強いてここにこれを記すのは、核医学を愛して已まないからである。

核医学も、また、連関の深い放射線医学も、ともに物理的な具体を名に冠するがゆえに、時代ごとの流行は、技術の盛衰に強い影響を享ける。それでも核医学が猶更に重要なのは、名義の概念を凌ぐ広い領域と脈絡を保ちつつ、学問としての確

たる価値を湛えるからである。やはり核医学の真髄は methodology ということに尽きるのだったのだと来し方を遠慮するものだ。敢えて、臨床はその適正な應用である。医学全体を見透す碩学が要諦とされるところでもある。大学の医局に研修医として籍を措いた二昔前からしばしば同僚と議論した夜更が思い返される。

十余年を経て埼玉県に還る日本核医学会は、不惑前から知命にどのような変遷を遂げ、そしてここから何処を指向するのか。もちろん、爾来培った智慧に頼み、新たな発想を加えて新時代を築くことを誰もが希求している。

各地から来埼される学兄盟友と、主に会場で、少しくは宴席で、悠々と論を愉しむ時空こそ人生の豊穡の秋であろう。盛会を祈念し、主催の言を括らせて戴く。

(第五十回学術総会実行委員長 会津大学 奥 真也)

## 核医学編集委員会

- 委員長：絹谷 清 剛 (金沢大学医薬保険研究域医学系核医学)  
 副委員長：佐々木 雅 之 (九州大学大学院医学研究院 保健学部門医用量子線科学分野)  
 委員：石井 一 成 (近畿大学医学部 放射線医学講座 放射線診断学部門)  
 犬伏 正 幸 (放射線医学総合研究所 分子イメージング研究グループ)  
 河邊 讓 治 (大阪市立大学大学院医学研究科 核医学科)  
 河村 和 紀 (放射線医学総合研究所 分子認識研究グループ)  
 下瀬川 一 英 (埼玉医科大学国際医療センター 核医学科)  
 立石 久 慈 (大阪大学大学院医学系研究科 核医学講座)  
 橋本 宇貴秀 (横浜市立大学大学院医学研究科 放射線医学講座)  
 東 達 也 (滋賀県立成人病センター研究所)  
 渡部 浩 司 (大阪大学大学院医学系研究科 医薬分子イメージング学寄附講座)

「核医学」第47巻3号 平成22年9月30日 発行 本号定価 ¥1,800

編集兼発行者 絹谷 清 剛

〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-28-45 (社)日本アイソトープ協会本館3階

発行所 一般社団法人 日本核医学会

振替口座 00180-5-741770 番

電話東京 (03) 3947-0976 FAX (03) 3947-2535

E-mail: anm@xvg.biglobe.ne.jp

ホームページ: <http://www.jsnm.org/>

印刷所 株式会社 海川 企画

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 2-51-1

電話 (03) 3806-0961(代) FAX (03) 3806-0848

広告申込所 〒102-0071 東京都千代田区富士見 2-12-8 電話 (03) 5226-2791(代) 日本医学広告社